



2021年3月期

決算説明資料

2021年5月13日

TOWA株式会社

1. 2021年3月期 実績
2. 2022年3月期 予想
3. TOPICS

- 1. 2021年3月期 実績**
2. 2022年3月期 予想
3. TOPICS

2021年3月期 サマリー

過去最高

通期受注高
409億円

連結営業利益
4.5倍

- ▶ **中国地域・台湾地域で受注が伸び、通期の受注高が400億円を超える。**
半導体内製化を推し進める中国地域での活発な設備投資や、台湾での5G関連製品向け設備投資の増加などにより、受注高が過去最高の409億円となる。
- ▶ **収益性が大きく回復し、営業利益は前年比4.5倍の36.1億円となる。**
メモリや5G関連など付加価値の高い製品向けの売上が増加。また、生産方式の見直しによる在庫の削減にともない評価減が減少し、収益性が大きく改善。
- ▶ **複数の指標が過去最高を更新。**
通期受注高、コンプレッション受注・売上高が過去最高を更新。2022/3月期は売上高、営業利益、経常利益でも過去最高を見込む。

2021年3月期 連結業績結果（前年比）

（単位：億円）

	2020/3期 実績	修正予想 (2021年2月5日公表)	2021/3期 実績	前年比
売上高	252.5	290.0	297.0	+ 17.6%
営業利益 (営業利益率)	8.1 (3.2%)	33.0 (11.4%)	36.1 (12.2%)	4.5倍 (+9.0%)
経常利益	6.4	34.0	38.1	5.9倍
当期純利益	3.6	24.5	26.6	7.2倍

※当期純利益 = 親会社株主に帰属する当期純利益

2021年3月期 セグメント別売上高（前年比）

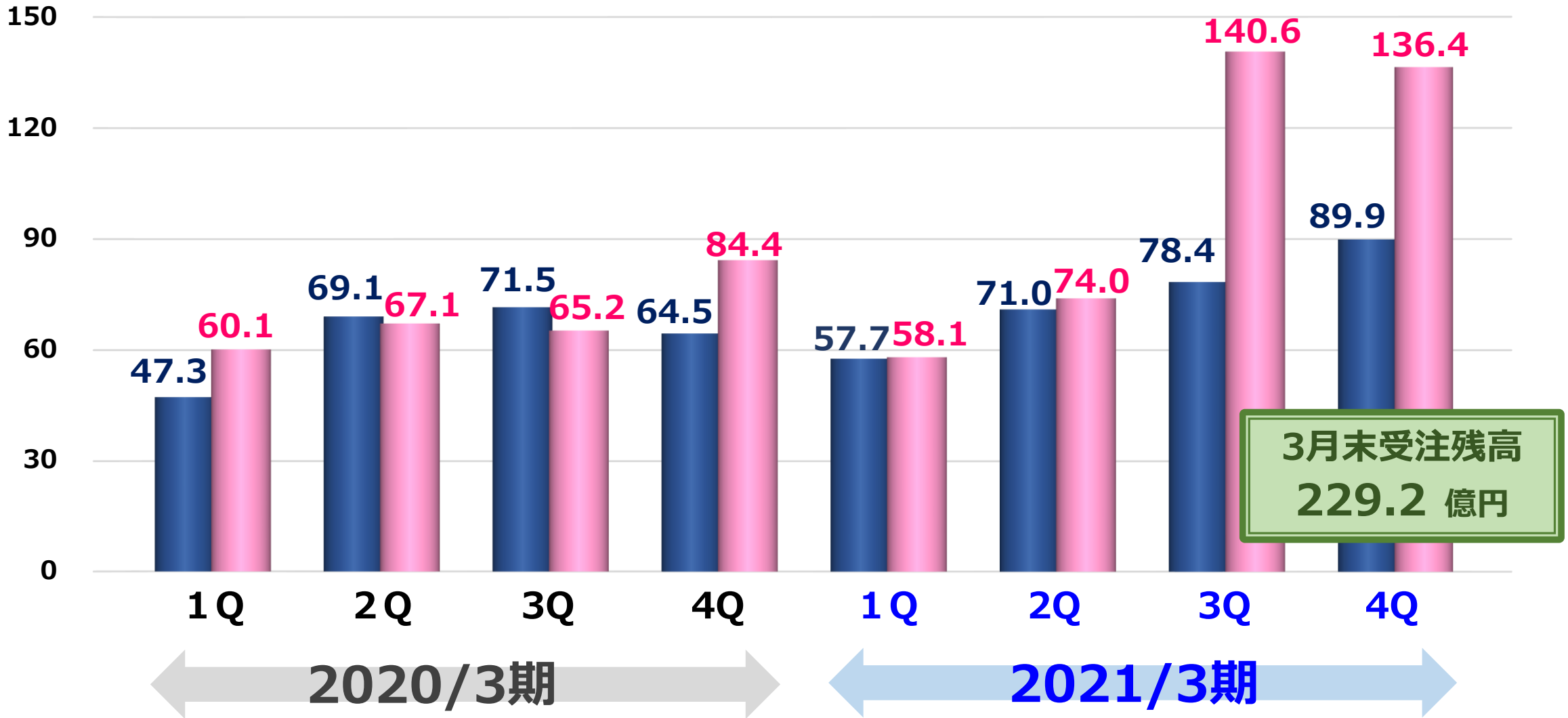
（単位：億円）

	2020/3期 実績	2021/3期 実績	増減額	前年比
売上高	252.5	297.0	+ 44.5	+ 17.6%
半導体事業	170.7	211.1	+ 40.4	+ 23.7%
化成品事業	16.1	18.1	+ 2.0	+ 11.9%
新事業	48.4	54.2	+ 5.8	+ 12.1%
レーザ事業	17.3	13.6	▲ 3.7	▲ 21.5%

受注・売上高の推移

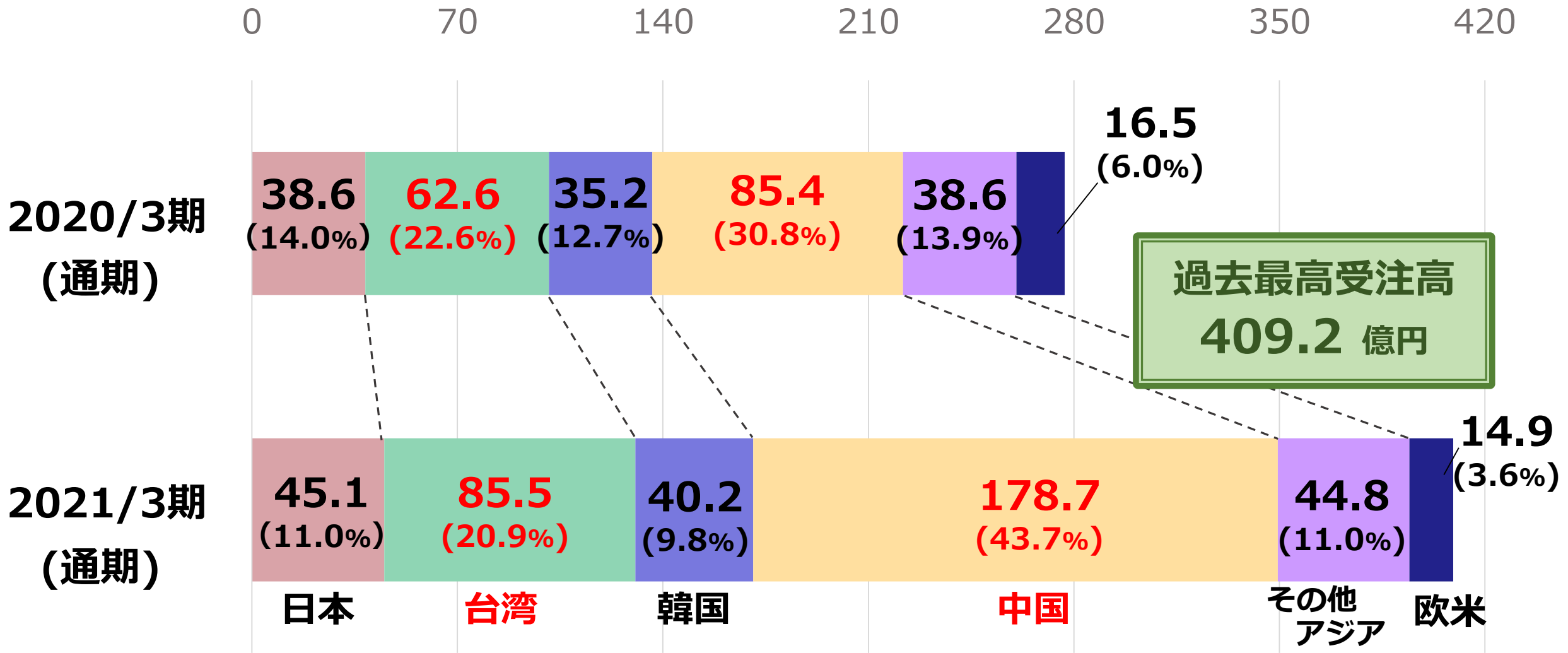
(単位：億円)

■ 売上高 ■ 受注高



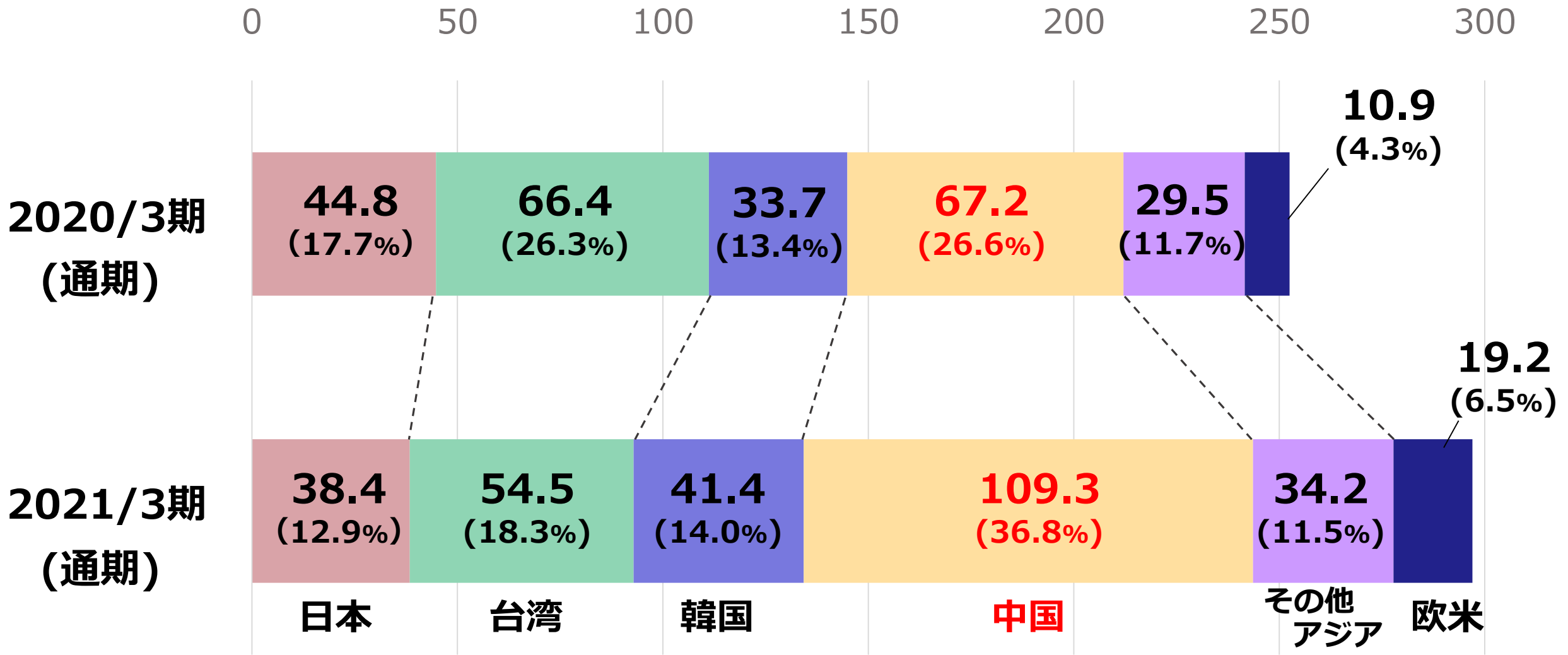
2021年 3月期 地域別受注高 (仕向地ベース)

(単位：億円)



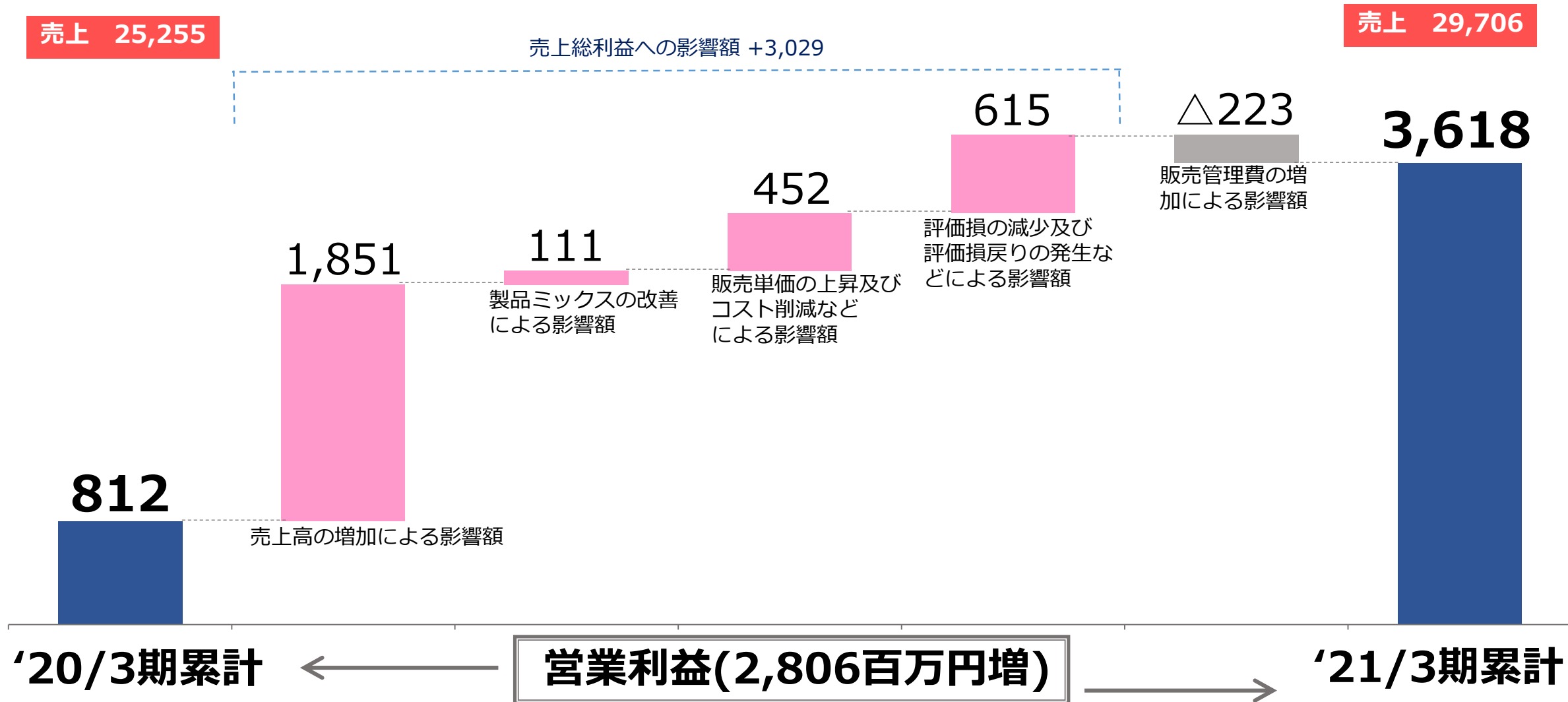
2021年 3月期 地域別売上高（仕向地ベース）

（単位：億円）



2021年3月期累計 連結営業利益 増減要因分析 (対前年同期比)

(単位：百万円)



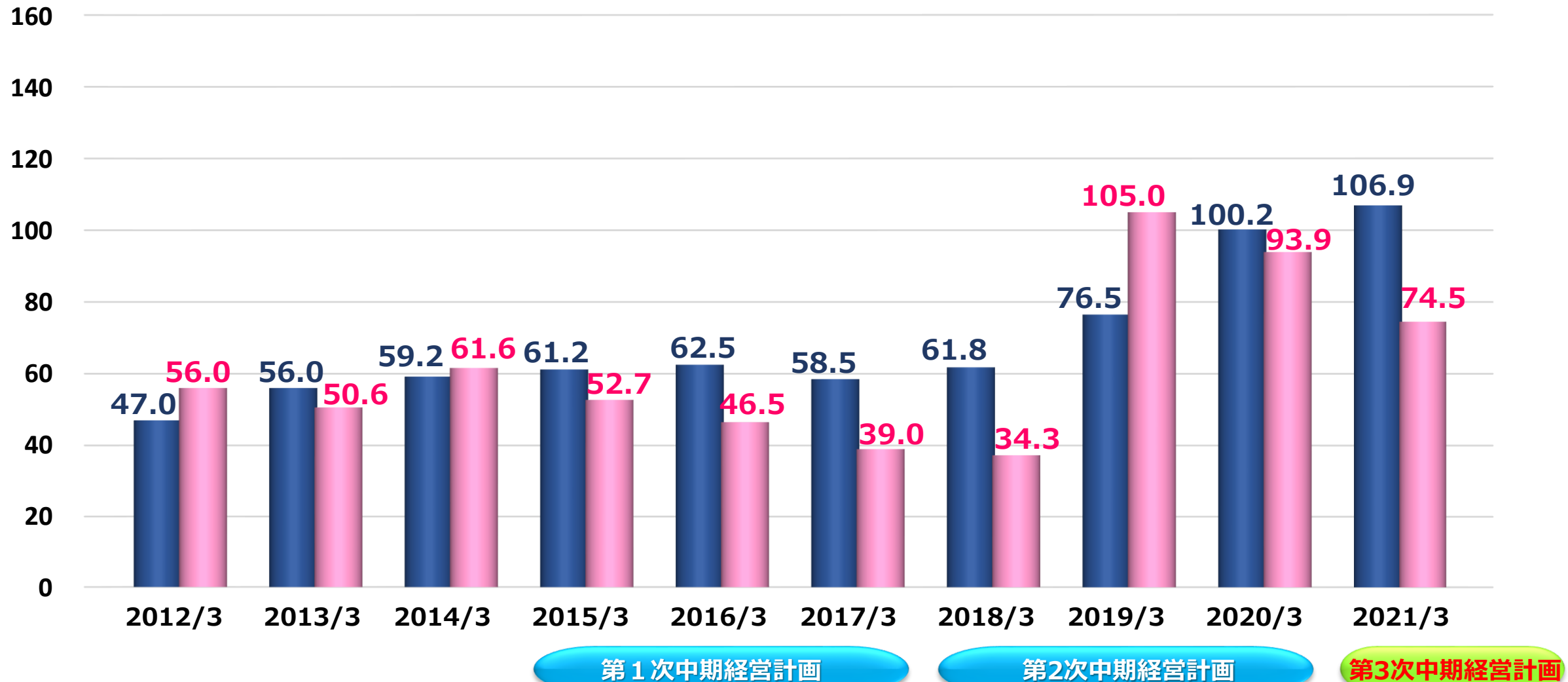
CONFIDENTIAL

キャッシュ・フローの推移

■ 現預金残高

■ 借入金残高

(単位：億円)



主な説明内容

1. 2021年3月期 実績
- 2. 2022年3月期 予想**
3. TOPICS

2022年3月期 通期 連結業績予想

(単位：億円)

	2021/3期 実績	2022/3期 予想	増減額	前年比
売上高	297.0	過去最高 380.0	+ 83.0	+ 27.9%
営業利益 (営業利益率)	36.1 (12.2%)	過去最高 50.0 (13.2%)	+ 13.9	+ 38.2% (+1.0%)
経常利益	38.1	過去最高 50.0	+ 11.9	+ 30.9%
当期純利益	26.6	35.0	+ 8.4	+ 31.4%

※当期純利益 = 親会社株主に帰属する当期純利益

2022年3月期 セグメント別売上予想

(単位：億円)

	2021/3期 実績	2022/3期 予想	増減額	前年比
売上高	297.0	380.0	+ 83.0	+ 27.9%
半導体事業	211.1	263.0	+ 51.9	+ 24.6%
化成品事業	18.1	18.5	+ 0.4	+ 2.2%
新事業	54.2	75.1	+ 20.9	+ 38.6%
レーザ事業	13.6	23.4	+ 9.8	+ 72.1%

TOWA 10年ビジョン

第1次中期経営計画

- ・欧州・米国にラボ設置
- ・CPMシリーズ発表
- ・SEMES社より事業譲受
- ・新事業推進本部 設置
- ・蘇州・九州工場 増築

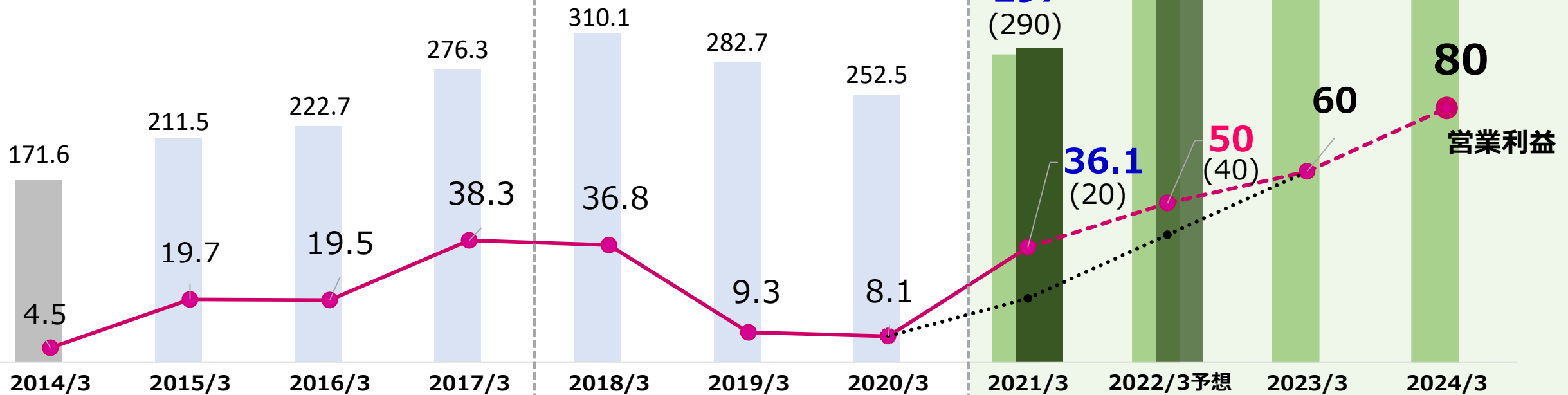
第2次中期経営計画

- ・TOWAM新工場完成
- ・レーザ加工事業譲受
- ・中国金型事業譲受

第3次中期経営計画

- ・東和南通新工場完成

(単位：億円)



※2021/3及び2022/3予想の()数値は当初計画

設備投資・配当予想

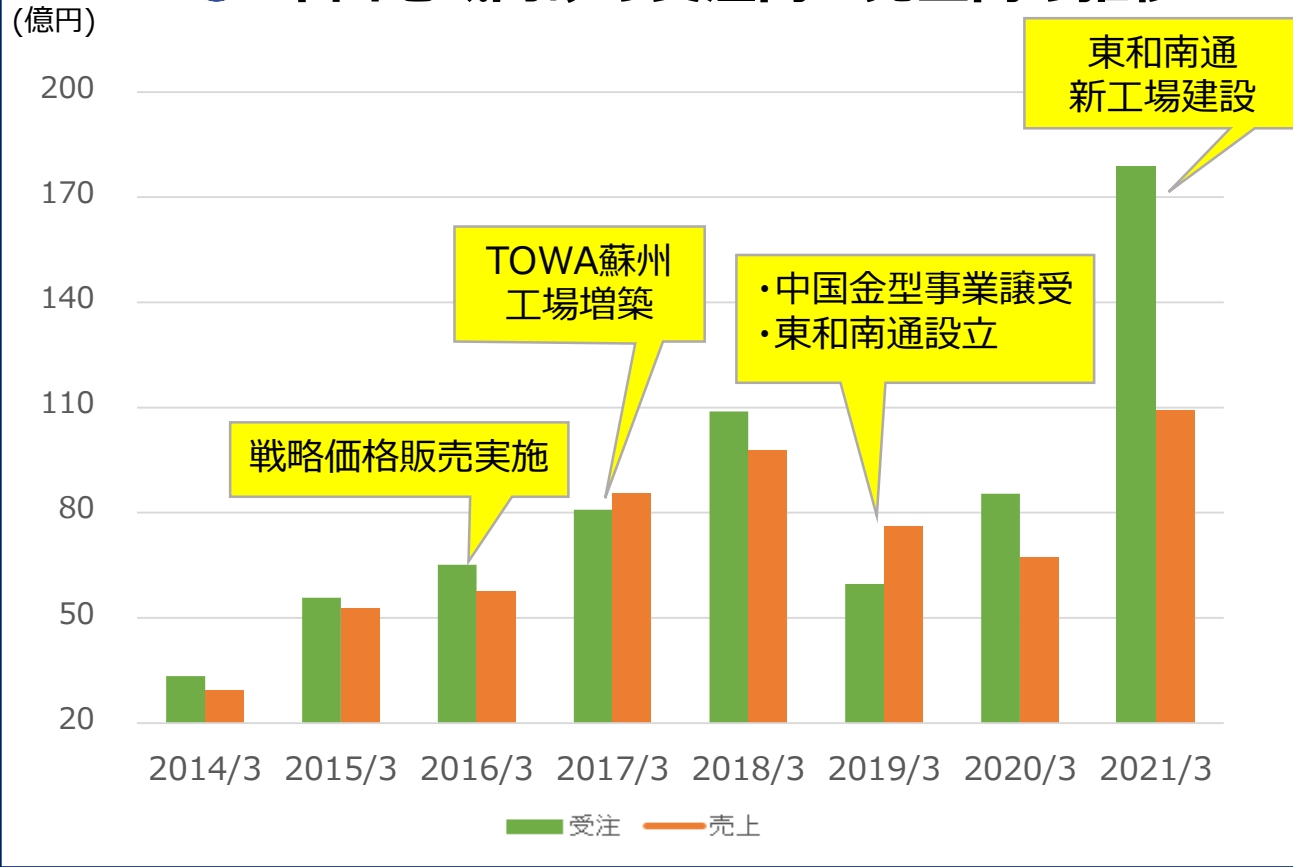
	2021/3期 実績	2022/3期 予想
設備投資	34.5億円	58.1億円
配当	16.0円	23.0円

1. 2021年3月期 実績
2. 2022年3月期 予想
3. TOPICS

中国地域向け受注・売上

半導体国産化を推し進める中国地域で受注・売上が大きく増加!!

中国地域向けの受注高・売上高の推移



<受注・売上増の背景（当社特有の理由）>

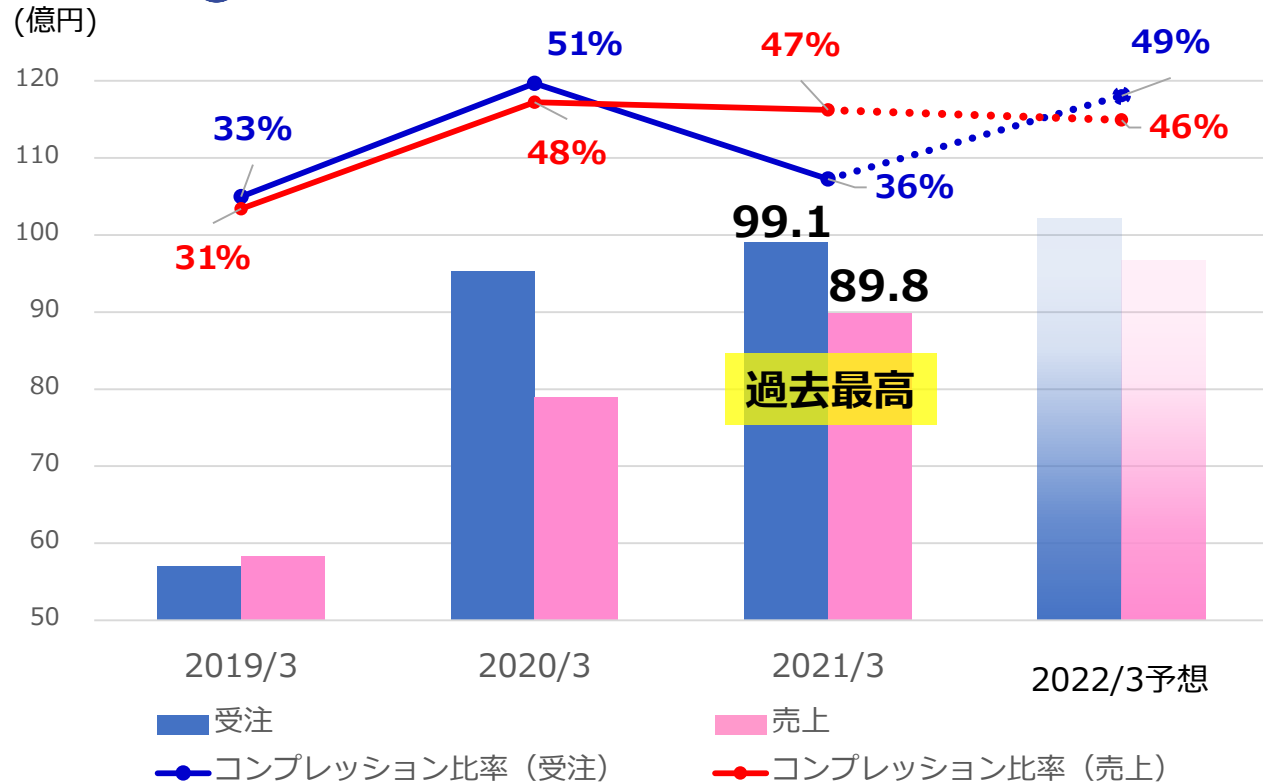
- 生産・設計～販売・アフターサービスを中国国内で完結できる充実した体制（需要を予想した先行投資の実施）
- 市場拡大前に戦略的な価格設定で現地OSATのシェアを獲得
- モールドینگ装置における世界シェアトップの確かな実績

TOWA独自のコンプレッション技術

コンプレッション装置・金型受注・売上高が過去最高を更新!!

**TOWA独自技術のコンプレッション装置・金型がメモリや5G製品向けに伸長。
受注高・売上高ともに過去最高となり、今後も高い水準を見込む。**

● 受注高・売上高及び構成比率の推移



● 実績

メモリや通信用デバイス向けに伸長。

<主な用途>

- ・ 5Gスマートフォン
- ・ サーバー
- ・ PC、タブレットなど

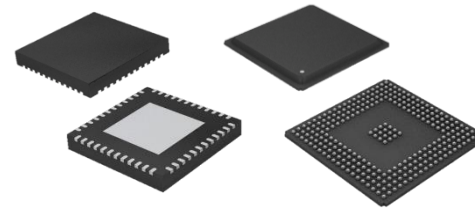
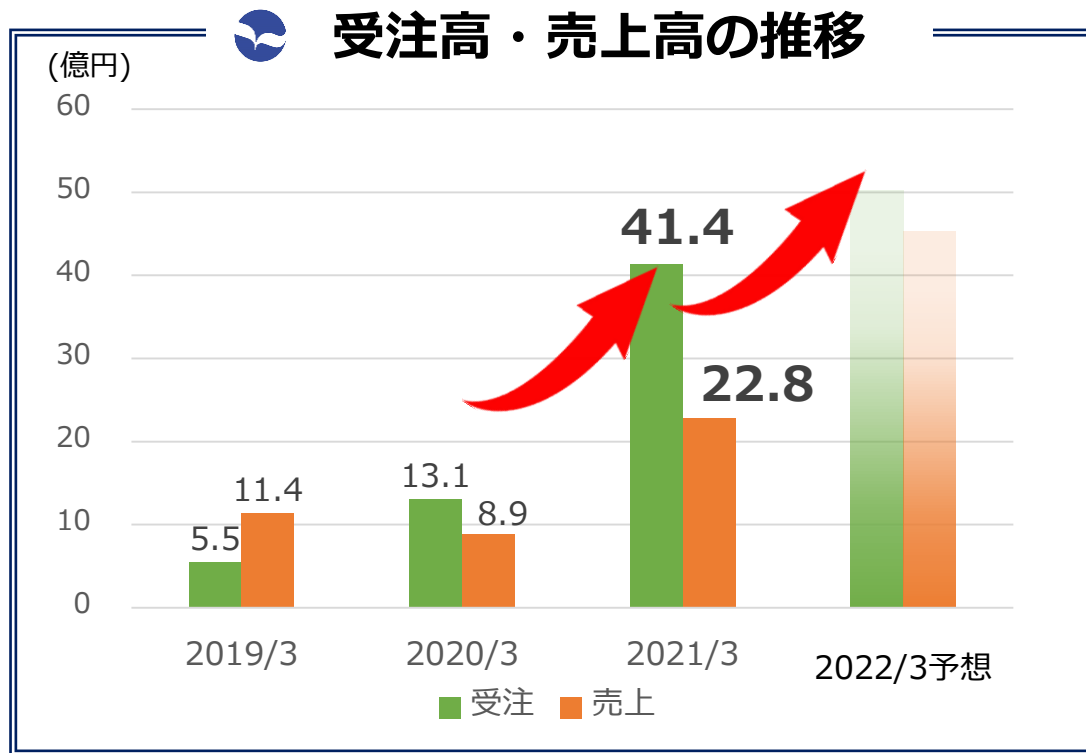
● 今後の見込み

半導体機能の高度化によりコンプレッション技術の**優位性**（低圧成形、低背化、モジュール対応可能など）**がさらに高まる**。メモリ中心であった用途が通信機器向けなどの他のデバイスへ拡大。

シンギュレーション装置

シンギュレーション装置の受注・売上が大きく伸長!!

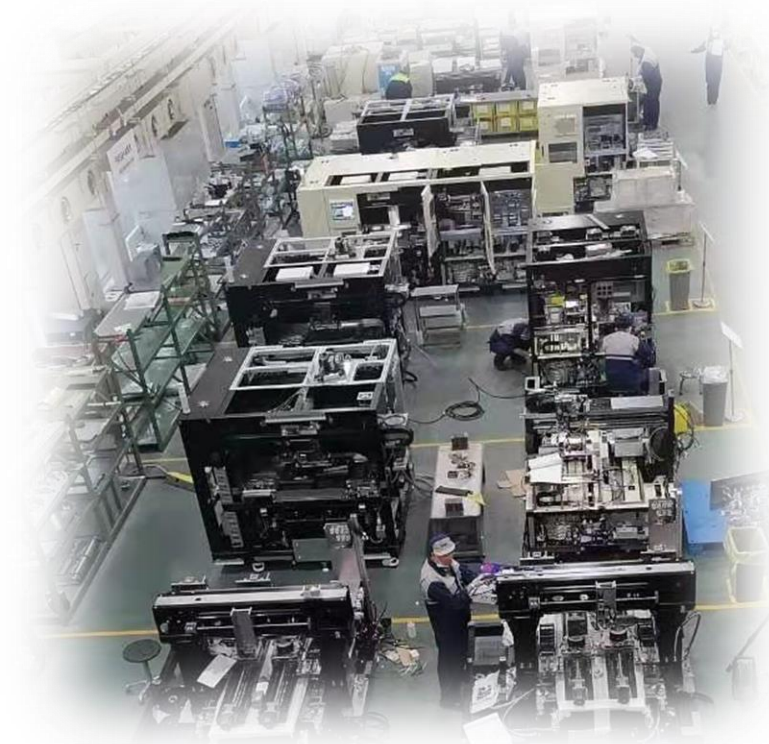
- 5G通信機器や家電用などの汎用品向けに受注・売上が拡大。
- 高品質なアフターサービス体制やモールドディング装置での技術力を高く評価いただき、新規顧客を獲得。



対象となるパッケージ例



シンギュレーション装置 (FMS3040)



増産対応中のTOWA蘇州工場

生産体制の強化

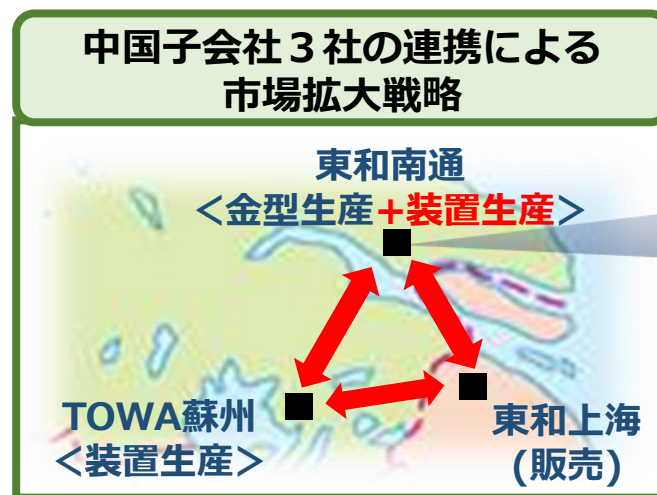
生産キャパシティの最大化と市場の変化に柔軟に対応できる体制の構築

- 焼入れなどを含めた金型の一貫生産ラインを保有し、中国国内で金型と装置生産を完結できる体制を構築。
- 拡大する中国市場における生産キャパシティの増強
(TOWA蘇州工場に加え、今期より東和南通新工場で装置生産を開始)
- MIPハイブリッド化により生産効率化と能力拡大を両立

MIPプロジェクト

(Minimal Inventory & Period)

- ▶ リードタイム短縮
- ▶ 在庫適正化 (生産方式見直し)
- ▶ 先行生産 ⇔ 受注後生産の切替

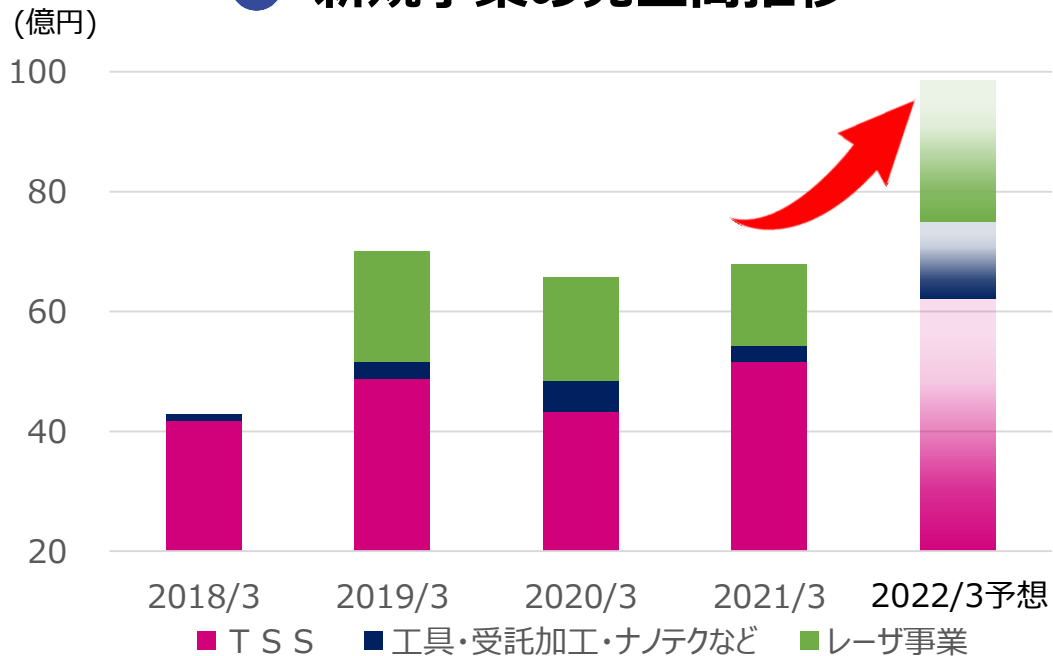


東和南通新工場
(2021年2月完成)

新事業の取り組み

新規事業（レーザ事業含む）

新規事業の売上高推移



- 半導体市場の活況により、アフターサービスなどが増加する見込み。
- 自動車や産業機械向け需要の回復による電子部品市場の回復と工具や受託加工の需要増を見込む。

工具生産用工場

工具需要の増加を見込み、京都東事業所の増築を計画中。

ソーラーパネルや省エネ設備の導入などにより、**工場で使用する電力を再生可能エネルギーで賄う。**



増築予定の京都東事業所イメージ図

ESGの取り組み①

SDGsへの取り組み

特に事業との関連性が高い以下の項目について、重点的に貢献してまいります。



脱炭素に向けた取り組みを加速

- グループ全体で脱炭素に向けた取り組みを加速するため、プロジェクトチーム（分科会）を発足。

<検討中の主な取り組み>

- ・ 工場の省エネルギー化（DX活用、再生可能エネルギーの利用など）
- ・ 製品の省エネルギー化
- ・ コンプレッション装置の拡販（用途・活用範囲の拡大）



環境負荷の少ない製品開発

当社は、1979年に樹脂の使用効率を高めるマルチプランジャー方式を開発し、樹脂の廃棄量を大幅に削減したほか、樹脂効率100%（廃棄量ゼロ）を達成する独自のコンプレッション方式を開発するなど、創業時から環境への負荷が少ない製品開発を行っております。また、デジタル化、デジタルトランスフォーメーション（DX）を支えるデータセンター、情報通信インフラの整備に伴う半導体への拡販を通じ、脱炭素に貢献します。



PMC2030



TOWA韓国が企業人大賞を受賞

2020年10月29日、TOWA韓国は「第27回忠清南道企業人大賞」において、経営大賞を受賞しました。忠清南道企業人大賞は、企業の堅実度、経営能力、技術能力および雇用創出の成果、輸出活動、地域社会への貢献など各分野において、優れた成果を見せ、**地域経済の発展と活性化に貢献した優秀企業に贈られる賞**です。今後も地域社会に寄与し、共存できるように励んでまいります。

<ご参考> 【TOWAとSDGs】 <https://www.towajapan.co.jp/jp/company/sdgs/>

ESGの取り組み②

コーポレート・ガバナンスの強化

- ・ 社外取締役を1名増員し監査体制と社外役員比率を向上
- ・ 女性取締役の就任により取締役会の多様性を確保

社外取締役比率
37.5%

女性役員
1名

指名・報酬委員会の設置（2021年4月1日より設置）

委員会の構成
過半数が社外

議長
社外取締役が議長

政策保有株式の売却（2021年3月期は4銘柄の売却を実施）

売却銘柄数
4銘柄を売却

純資産に占める比率
12.1%

世界のモールドプロセスをTOWAに!!



TOWA 10年ビジョン

ものづくり企業の真価に挑む

《本資料に関するお問合せ》TOWA株式会社 企画部
〒601-8105 京都市南区上鳥羽上調子町5番地 Tel : 075-692-0251

本資料には当社グループの計画や方針、財務、技術、製品、サービス、業績等に係る将来予想に関する記述が含まれております。将来予想に関する記述は、あくまで当社グループが現時点において入手可能なデータや仮定、方法等に基づき、当社グループが判断したものであり、様々なリスクや不確定な要因を含んでおります。また、新たなリスクや不確定要因は随時生じるものであり、その発生や影響を予測することは不可能であります。したがって、本資料に含まれる将来に関する記述は、実際の結果とは大きく異なる可能性があることをあらかじめご了承願います。